



震災時は橋脚ごと流された大槌川橋りょう。背後には復興が進む大槌町の姿が見える



駅から徒歩5分ほどで浪板海岸へ。サーファーの姿も多い



浪板海岸駅付近から見た船越湾。駅の前後が沿線屈指のビューポイント



大槌駅へ入線。特徴的な意匠の駅舎が印象的だ



鶴住居駅からも見える「釜石鶴住居復興スタジアム」



鶴住居駅では歓迎の大旗を振る地物の人の姿も



両石地区。この地点まで津波が到来。かつては国道が谷底を走り、ちょっとした極端駅のたまたまだったが一変した



大きくカーブし甲子川橋りょうを渡るとまもなく釜石駅

釜石駅ではJR列車も全線する4番線ホームに入線

町のシンボル「蓬莱島」をモチーフとした大槌駅には、観光案内所、鮭を利用したオリジナルラーメンを提供するラーメン店も開業とのこと。駅舎建設に関する話題も尽きないが、詳しくは本誌P38を参照されたい。

トンネルを抜けることに町が開けるこのエリア。続くのは鶴住居駅。こちらも津波で壊滅的な被害を受けたエリアだが、沿岸復興のシンボルとなる「釜石鶴住居復興スタジアム」がある。今年秋に開催される「ラグビーワールドカップ2019」では、予選ラウンドで、プールD「フィジー」対「ウルグアイ」とプールB「ナミビア」対「カナダ」の2試合が開催される。

かつては秘境駅のたたずまいがあった両石駅も、国道ならび宅地が約20mかさ上げされ、風景が一変した。この先線路は山間部を経て釜石駅へ。今回はここ釜石で一泊。翌朝、盛、気仙沼を目指す。



### 釜石駅 | かまいし(釜石市)

駅前付近まで浸水したものの、駅舎自体には大きな被害はなし。駅舎に隣接して、2015年3月29日「ホテルフォルクローロ三陸釜石」が開業した。駅舎内では「NewDays釜石店」「そば処釜石店」が営業中だ。



### 両石駅 | りょういし(釜石市)

高台にあったため駅舎自体には大きな被害はなし。津波で壊滅的な被害を受けた両石地区のかさ上げ(約20m)、国道整備に伴い地域全体の景観が大きく変貌。駅、ホーム等の改良も施されている。



### 鶴住居駅 | うのすまい(釜石市)

津波により流失。駅舎(ホーム上待合室)はJR東日本が新築。ベンチは「釜石鶴住居復興スタジアム」のベンチ同様に、平成29年に釜石市平田の尾崎半島で発生した山火事で表皮などが焼けた杉の木が使用されている。

### 岩手船越駅 鯨と海の科学館

楽しみながら鯨と海の不思議を学ぶ

鯨と海の科学館は、クジラを通じて彼らが住む三陸の海、海を育てる豊かな自然環境について知ることをテーマにしている。マッコウクジラ実物大模型が中空を泳ぐ常設展示室は深海をイメージ。世界や三陸の海について、広さや深さ、海流と気候の関係、海水の性質、海の生物、海と人間の共存など工夫を凝らして紹介している。

1987年に三陸沖で捕獲された巨大なマッコウクジラ(雄、17.8m)の実物骨格標本。双眼鏡を利用してより拡大して見ることができる工夫も

0193-94-3985  
 下野伊部山田町船越7-50-1  
 9:00 - 17:00 券入場~16:30  
 小中学生150円、高校生・学生200円、大人300円  
 火曜(祝日の場合は翌平日休)、年末年始

震災時には津波が建物のエントランスホール天井付近まで到達。約6年かけて復旧。2017年7月15日に再開した



岩手船越駅へ入線する新造列車



ワマン運転時は運転士自らが乗客完了確認を

### 岩手船越駅 沿岸で魚介類を購入するならここ道の駅やまだ

春は山菜、シタケ、夏は瓶ウニ、秋はマツタケ、冬はイクラ、荒巻鮭など

組合員41名で構成される産直が大人気。3-4月は、毛ガニ・クリガニ、マス、カキ、メカブ、メロウド、生シタケなどが店頭。ホタテ以上にのびのびと人気急上昇中のアカザラガイもオススメ。

0193-99-7025  
 下野伊部山田町船越6-141  
 9:00~18:00  
 不定 51台

小ぶりなれど肉厚で濃厚な美味しさで大人気のアカザラガイ。火を通すとさらに美味しさが増す。取材時には17人入って410円だった

国道45号沿い、鮮魚、山菜、キノコなど鮮度と価格の安さで評判

メロウド(コウナゴ)。軽く干して焼くと美味しい

### 岩手船越駅 山田かき小屋

岩手船越駅から徒歩15分 蒸しガキを食べ放題

カキの蒸し焼きが大人気。通常プランは40分食べ放題(蒸し焼き時間を含む)、ライス付で大人(中学生以上)3,000円、小学生2,000円。利用スタート時間は11:00、12:00、13:00、14:00。完全予約制で利用は2名以上、2日前までに山田町観光協会(☎0193-65-7901)に電話で申し込み(受付時間/9:00~17:00・水曜休)を。

0193-65-7901(山田町観光協会)  
 山田町船越9-270  
 水曜、木曜(祝日の場合は営業)

織笠川の右岸に沿って走る列車からは山田湾を一望。カキ、ホタテの養殖棚が整然と並びその姿は、震災復興を目指す漁家の皆さんのパワーそのもの。悲劇の主役となった海は、また、生業の場、生活の糧、地域の歴史、産業、文化の源でもあるのだ。

列車は岩手船越駅へ。高台にあるため津波の影響は受けなかったが、ホーム等の修繕が施されている。ちなみにここは本州最東端の駅。今回のプランでは一度この駅で下車。次の列車まで2時間ほどの時間を利用して周辺観光を楽しみたい。候補となるのは、国道45号沿いにある「道の駅やまだ」と捕鯨の町としての歴史もある山田町ならではの「鯨と海の科学館」。どちらも駅から徒歩10分ほどの「鯨と海の科学館」を早めに見学して、「道の駅やまだ」でお土産選び。商品は宅配便で、というプランがオススメだ。

## 滞在可能時間は約2時間 山田の歴史と食を堪能

## 三鉄リアス線 宮古駅~釜石駅情報



### 大槌駅 | おおつち(大槌町)

津波により町の中心部が壊滅的な被害を受けた大槌町。土地かさ上げ後、かつての駅とほぼ同じ場所に駅舎・ホームが建築された。デザインは町のシンボル「ひょうたん島(蓬莱島)」がモチーフだ。



### 吉里吉里駅 | きりきり(大槌町)

高台に位置し、津波の被害は皆無だったが、JR東日本により、修繕が施されている。ホームの雰囲気も一新。駅舎周辺は桜の名スポット鳴き砂の浜で知られる「吉里吉里海岸」へ徒歩10分程度。海水浴場も再開している。



### 浪板海岸駅 | なみいたかいかん(大槌町)

浪板海岸を望む高台にあったが、津波により大きな被害を受けた。JR東日本によりホーム本体以外はほぼすべて新築。波頭をモチーフとした屋根の形状と海の眺望に配慮したデザイン。新しい駅舎は浪板海岸に打ち寄せる波のイメージ。